



※左記のQRからも留萌市議会のホームページにアクセスできます。

議会です こんにちは

第158号

主な内容

- P 10 ・ 市民と議会の意見交換会でいただいた意見
- P 11 ・ 各常任委員会からの報告
- P 12 ・ 決算審査特別委員会からの報告
- P 13～P 15 ・ 第3回定例会一般質問
- P 16 ・ 留萌市議会議員出席状況
・ 議員政策形成セミナー …… ほか
- P 17 ・ こんなことが決まりました
・ 組合議会からの報告 ・ 議会の動向 … ほか

市民と議会の意見交換会でいただいた意見

留萌市議会では、開かれた議会、市民参加の拡充などを目的に、市民と議会の意見交換会を開催しています。今回は9月30日（火）同日2回に分け、港西コミュニティセンターにて開催いたしました。教育、福祉、経済、奉仕団体などの19団体と一般応募合わせて、33名にご参加いただきました。それぞれの立場や経験から、多岐にわたる貴重なご意見をいただきました。ご参加、ご協力いただきました皆様に、深くお礼申し上げます。

意見交換会で出された意見の報告書は、市議会ホームページでご覧いただけます



第1部では議会運営委員会、総務経済常任委員会、民生文教常任委員会、決算審査特別委員会の各委員長から報告いたしました。

第2部では①「マチのにぎわいと公共交通について」②「社会教育施設について」の2つのテーマについて4～5人の班編成で意見交換させていただきました。

①のテーマでは、「後継者不足と高齢化により商店街の衰退化にますます拍車がかかることが予想される」「メインストリートとされるところに放置された危険な建物の対策を考えていくべき」「もっとマスコミの力を利用しては」「ライドシェアの導入を」「公共施設の前にバス停がほしい」

②のテーマでは、「温水プールぶるもは高齢者の健康増進に役立つような使い方も考え、通年利用にできないか」「駐車場の使い勝手が悪い」「文化センター、スポーツセンターのバリアフリー化と冷房設備が必要」「人口の推移にあったまちづくりを考えたい」と、どのような社会教育施設が必要なのかを考える必要がある」など、貴重なご意見をいただきました。

市民の皆様からいただいたご意見につきましては、総務経済・民生文教常任委員会にて検討し、後日、最終報告書を公表いたします。



総務経済
常任委員会
の報告

令和7年度第1回まちづくり懇談会開催 老朽化に伴い小室の沢川改修実施

◎委員長 戸水美保子
○副委員長 宇川 達朗

・村上 雅彦 ・小野 敏雄 ・野崎 良夫
・鈴田 亜湖 ・村山ゆかり

総務部、地域振興部、都市環境部からの議案・報告・情報提供事項について確認した。

【総務部】

情報提供事項として令和7年度留萌市功労等表彰式の実施について、令和7年度留萌市国民保護訓練の実施について説明を受けた。



▲老朽化に伴い改修される小室の沢川
助成金の交付状況について、道の駅るもいミニSL運行イベントの実

【地域振興部】

令和7年度第1回まちづくり懇談会の開催結果について、令和7年度留萌市住民組織運営

施について説明を受けた。

【都市環境部】

令和7年度留萌市一般会計補正予算(第3号)にて、老朽化に伴い破損し護岸背面の地盤が緩み、消火材用の配管に影響を及ぼす恐れがあるために小室の沢川改修事業について専決処分した報告を受けた。

【所管施設視察】

令和7年9月22日
総務経済常任委員会として、国の助成制度を活用し、瀬越町に完成した留萌ギゲタ ウニ陸上養殖施設を視察。



▲視察した瀬越町のウニ陸上養殖施設

令和7年度芸術鑑賞事業について 赤字決算令和6年度病院事業会計

民生文教
常任委員会
の報告

◎委員長 田村 裕樹 ・川村 忠司 ・横田 美樹 ・村上 均
○副委員長 小沼 清美 ・燕 昌克 ・米倉 靖夫

市民健康部、教育委員会、留萌市立病院からの情報提供事項について確認した。

【市民健康部】

保健事業計画と留萌市地域包括支援センターの令和6年度事業実績と、令和7年度の事業計画について説明を受けた。

【教育委員会】

令和6年度小・中学校における「いじめ・不登校」状況に関する調査結果と推移について、留萌南部地域の小学生433名を対象とした、劇団四季による芸術鑑賞事業についての説明を受けた。



▲令和7年度芸術鑑賞事業

【留萌市立病院】

経常収支で9億円を超える赤字が発生するとともに、令和2年度に解消した資金不足が発生することが含まれた、令和6年度の留萌市病院事業会計決算について説明を受けた。

【所管施設視察】

低学年から英語に親しむ教育活動として、3・4年生への外国語活動へスムーズにつなげていけるようは



▲るもいECタイム授業風景

じまった、るもいECタイムの視察を行った。英語によるコミュニケーションを図る素地となる資質や能力の育成に寄与できることなどを視察により確認した。

令和6年度決算審査特別委員会からの報告 (一部抜粋)

9月10日に決算審査特別委員会を開きました。

【総務費】

QJR留萌線鉄道施設撤去等事業について、進捗状況は。

A進捗状況としては19.1%の工事完了となっている。

Qモンベルフレンドフェア大阪魅力発信業務委託の事業概要は。

A株式会社モンベルの50周年事業にて、地元特産品の物販を留萌観光協会に業務委託し、参加した。



▲モンベルフレンドフェア大阪

Qふるさと応援推進事業において、受理件数が前年度から減少していることについて、所管としてどのように考えるか

A人気商品であるイクラの原材料高騰に伴い、仕入れの減少、価格転嫁による高額化が要因。また、地方がメインだった市場が首都圏の商品に流れているのも一つの要因。

Q空家バンク制度の登録は5件となっている。市内の空家はどの程度あるのか。

A市として把握している件数は330件ほど、その内移住者に促進できる対象空家は60件ほど。

Q地域おこし協力隊事業について、不用額の理由は。

A当初7名分の人件費や募集経費を見込んでいたが、実績として2名の採用となり、その差の不用額となっている。

Q学生寮運営実証実験事業補助金について、この内容と課題は。

A入居者が少ないことから、施設維持や共用部分の経費負担が大きく、民間での運営が困難になっていることが課題と捉えている。

【民生費】

Q障害者基幹相談支援事業委託料について、主な相談内容は。

A多岐にわたるが、多くはコミュニケーションについてが主である。相談件数も前年度より大幅に増えている。

Q生活応援図書券発行運営委託料について、実際の使用率について。

A配付枚数9,765枚に対し7,642枚の利用、使用率については78.2%となっている。

Q保育士確保対策助成金について、不用額の理由は。

A当初3名分の予算を計上していたが、結果として1名分の助成となった。

Q生活保護扶助費について、前年度から見ると世帯数が減少しているがこの理由は。

A高齢者の扶助世帯数が多くを占めており、高齢者の人口減に伴い減少しているものである。

【衛生費】

Q带状疱疹予防接種助成事業について、利用者数は。

A生ワクチン及び不活化ワクチン併せて1,637回、接種率については9.2%となっている。

Q出産・子育て応援事業について、何件の給付を行ったか。

A出産応援給付金は70名、子育て応援給付金については72名に給付をおこなった。

Q空家等適正管理事業について、特定空家の認定数は。

A16件の認定の内、3件の解体を確認し2件の略式代執行を完了しているの、現状は11件の空家がある状況となっている。

Q旧ごみ処理場(浜中)管理事業の収束時期はいつ頃と見込んでいるか。

A水質検査において浮遊物の廃止基準を上回り、また2年の経過観察が必要となった。



▲旧ゴミ処理場の水質検査

【労働費】

Q地元企業紹介サイト新規委託の成果は。

A企業の魅力を動画を活用して、社長や若手従業員の方からのコメントを入れながら、恒久的なプラットフォームを構築できたことが成果。

【農林水産業費】

Qスマート農業推進事業の効果は。

A地区農業の労働者確保、作業の効率化を目的にスマート農業を図ってきている。

Qナマコ資源増大共同事業の課題。

A地球温暖化で漁業資源に影響が出ていることが、今後どう影響するのかというのが、課題。

Qブルーカーボン推進試験事業の課題。

Aゼロカーボンに向け、昆布の養殖で二酸化炭素を吸収するこの事業を、港湾海域の中でどのぐらい拡大して事業化できるか、事業者と連携していくことが今後の

課題。

【商工費】

Qモンベルフレンドエリア登録負担金の留萌管内における受益と負担効果は。

A留萌市からの発信で始めた事業ということで、留萌市が牽引する立場で、管内としての一体化を持った取組について検討し、その中で費用負担についても、考えていきたい。

Q鉄道遺産活用調査設計委託料の効果。

A市民参加のワーキンググループを通じ、市民目線での活用のアイデアが提案され、今後のさまざまな取組の中で、基盤になっていくものと捉えている。

【土木費】

Q海洋再生可能エネルギー発電等調査研究事業の不用額の要因は。

A先進地視察が道内の視察のみになったことと、講演会が北海道の事業として開催されたことによる。

【教育費】

Q学習アシスタント配置事業の目的は。

A小・中学校、教育支援センターに在籍または通級する児童・生徒に対して、学習アシスタントを配置して、学習支援、適応支援、日常生活の支援を行うもの。

Q教育支援センター運営事業の成果は。

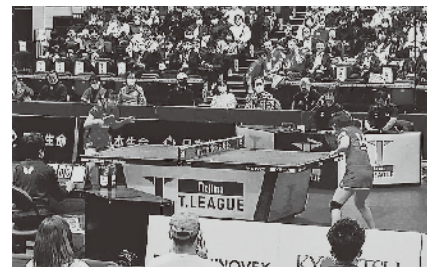
A指導員の付き添いなどで別室登校が可能となり、そこから通常登校につながった方もいるということで、確実に受け皿になっていると認識している。

Q音楽合宿のまち・るもい事業の効果は。

Aバスの使用料、楽器を運ぶトラックの使用料、市内の飲食店の経費で、一定程度経済効果はあると考えている。

Q子どもたちのプロフェッショナル観戦等助成金の不用額の要因は。

A団体全員の大人数で見るとというのがなかなか難しく、23名分の助成にとどまった。使いやすい内容に制度を改正したい。



▲Tリーグの観戦

【病院事業会計】

Q令和6年度決算の中で大きな赤字が発生した要因は。

A医師の減少、コロナ禍後も患者数の回復が予想していたよりも少なかった。人口減少も大きな要因。

詳細はこちらから
ご確認ください。



令和7年第3回定例会

一般質問と答弁

①



▲多くの市民や職員の体温上昇を抑える庁内の環境整備が課題

質問 クーリングシエルター設置について
熱中症対策として、地域全体の社会福祉の中核的役割を担う施設に対し、高齢者や子どもなどの弱者を支える仕組みとして、また、防災の観点や庁舎内の環境改善としてクーリングシエルターの設置の可能性について伺う。

答弁 気象変動という大きな流れの中で様々な検討していかねければならない事実が増えてきており、来年度に向けコミュニケーションセンターへのエアコン設置というのは必要ではないかと思っている。また、クーリングシエルターの設置情報について、必要な情報を適宜市民に配布することが適切かと思う。今後の職場の環境改善としても努めて参りたい。



よこた 横田 美樹
〔無党派〕

質問 メンタルヘルス対策について
市職員のストレスチェック体制について、職場特性に応じ調整する必要性があるのではないか。また、相談窓口として広域での自治体による共通窓口など、支援資源の拡充を進める考えはあるか伺う。

答弁 時間外の超過勤務に対し、毎月必ず一回は管理職の健康チェック等を行なうが、実施を進めている。先進的な対策として、相談窓口として民間企業を活用しながら電話相談などを行っている自治体もあると認識しており、効果や必要性について調査研究していく。



すずた 鈴木 亜湖
〔萌芽クラブ〕

質問 留萌市新交流複合施設の防災機能について
市民の安全・安心を図るため、防災面においてどのような機能を整備しようと考えているのか市長に伺う。

答弁 新交流複合施設を津波避難ビルに位置付けし、緊急的避難者が一時避難できる場所やフェーズフリーとなる施設整備を行う、機械室、防災備蓄庫、自家発電設備なども2階以上に設置し、災害対策本部としての機能が十分に発揮可能な会議室や予備電源などの設備機能を整備する。



▲地域に親しまれる一方で、課題を抱える温水プール「ぶるも」

質問 温水プール「ぶるも」の現状と今後の方向性について
施設的な課題や、運営的な課題をどのように認識しているのか、近隣自治体との広域連携による運営の可能性について伺う。

答弁 施設面では、設備の老朽化が進んでおり、令和6年度には水槽の更新を実施した。今後も給水ポンプ・配管などの更新が必要と認識している。運営面では、燃料費や人件費の高騰による管理経費の増加に加え、少子化・人口減少に伴う利用者の減少が大きな課題となっている。近隣自治体の状況ですが、増毛町では温水プールを有しており、大規模改修を実施したばかりなので、今後も現行施設を利用していく、小平町は苦前町のプールを使用しているの近隣自治体との広域連携による運営は難しい。



むらかみ 村上 雅彦
〔無党派〕

質問 バス待合所の道路占用料について
町内会等が道路占用許可を受けて維持管理しているバス待合所について、「全額免除」を検討する必要があると考えるが、市長の見解を伺う。

答弁 市の道路占用料は市道路占用料徴収条例に基づいて算定し、その減免は市道路占用料減免等取扱要領によって決定している。町内会などの営利を目的としない公的な団体の場合については占用者との個別の協議を行い、道路占用料を免除するか判断させていただきたいと考えている。



▲占用許可を受けているバス待合所

質問 財政執行方針と今後の運営について
市政執行方針にある「攻めと守り

詳細はこちらから
ご確認ください。



令和7年第3回定例会 一般質問と答弁 ②

の堅実な財政運営」の「攻め」と「守り」とは何を指すのか。新聞記事で「緊縮財政から持続可能財政への転換と投資事業の必要性」が報じられていたが、どのような認識か伺う。

【答弁】 財政危機を乗り越えてきた経験を踏まえ、人口減少に合わせて縮んでいくだけでなく、少子化対策をはじめ、税収の増加につながる経済対策や民間活力の導入、将来を見据えた公共施設の計画的な更新に取り組む、財政負担が過度に重ならないよう、施設の整備時期や基金の計画的な活用を考慮しながら健全で持続可能な財政運営を着実に進めていく。



うかわ
宇川 達朗
〔萌政会〕

【質問】 水道インフラの安心・安全確保と市民・事業者支援

今回の送水管漏水事故により市民生活に大きな影響が生じた。飲料水や生活用水は一時的に使用できなくなり、飲食店や小売店などの事業者において販売や営業休止を余儀なくし、経済的損失が発生した。市民の排水要請に伴う水道料金の補填、並びに事業者への休業補償支援について市長の見解を伺う。

【答弁】 水道料金については、事故直後に濁水解消のための排水要請を



▲地域包括支援センターが設置されているはーとふる

行った分についての料金減免を実施する。一律2立方メートル相当分の料金減免を基本とし、営業用、団体用では実績データを確認し、排水使用量相当分の減免を実施する。営業補償については個別対応となるが、事業者からの連絡を受け、事故当時の状況などを確認の上、検討する。

【質問】 高齢化進展に伴う介護支援の体制の充実

地域包括支援センターにおける相談件数や業務量の推移について、どのように把握しているか伺う。

【答弁】 近年では、高齢者の相談対応の複雑化や対応件数の増加、相談件数は令和6年度には3,606件となり、保健師や社会福祉士、介護支援専門員などの専門職や事務職の負担が増していると、ヒアリングを通して、状況把握を行った。今年度においては社会福祉士を募集し人員確保に勤めている。



とみずみほこ
戸水美保子
〔留萌公明党〕

【質問】 市役所設備の改善について

1点目として、市民ラウンジの椅子について、高齢者から「硬くて疲れる」「座りづらい」といった声が寄せられている。市民が心地よく居られる、使いやすい空間となるよう、快適性を考慮した椅子への改善について伺う。

2点目として、市役所窓口の来庁者のなかには、高齢化などに伴い、聞こえに不安を感じる方がいる。聞こえの安心のために「軟骨伝導イヤホン」の導入について伺う。



▲背もたれ付椅子が追加された、市民ラウンジ

【答弁】 1点目について。パイプ丸椅子も配置しているが、背もたれのある会議用の椅子を配置するなど、現在、検討を進めている「新交流複合施設」を見据えながら、どのような

形で、市民にとって心地よく、使いやすい空間にすることができるか検討したい。

2点目について。耳が聞こえにくい高齢者の来庁が多いと思われる部署に状況を確認しながら、試験的に導入することを含めて、検討したい。

【質問】 高校生が利用する元川町のバス停について

これまでいただいた答弁により、解決に向けて動き出すものと期待していたが、現状に変化が見られない。現在の検討の進捗状況について伺う。



こぬま
小沼 清美
〔無会派〕

【質問】 市民が安心して住み続けられる施策について

政府は昨年12月に従来の保険証を新規に発行することを停止した。医療機関窓口で期限切れに気づかず古い保険証を持ってきてしまうケースに対応できるように、厚生労働省は国保加入者について来年3月末まで期限切れの保険証の利用を可能とした。保険証の新規発行停止後の市

詳細はこちらから
ご確認ください。



令和7年第3回定例会 一般質問と答弁

③



▲災害や緊急時には、スイッチをいれなくても情報が流れてくる「緊急告知防災ラジオ」

の取組について伺う。

8月24日から27日の赤水、濁水発生にかかわって、市民へ情報が行き渡らない事態となった。必要な情報を市民に提供する環境の整備について現状と課題を伺う。

【答弁】 本年7月の国民健康保険証更新時には、現在の保険証が発行されなくなることに於ける注意喚起及びマイナ保険証の案内のパンフレットを配付し、市の広報やホームページで周知。マイナ保険証の登録を行っている方に対しては、資格確認書を発行し、現行の保険証を使用して、来年3月末まで保険診療を受けられることの通知も行っている。

市民への情報伝達手段は、コミュニティFM放送を活用した緊急割り込み放送をはじめ、消防サイレン、市のホームページ、公式ライン、各種防災アプリ、広報車、町内会長や防災連絡員を通じて電話連絡など、様々な媒体を活用して整備している。

【質問】 来年度の市長選挙出馬についてある政治評論家は「首長の仕事は特別な事情がない限りは、三期十二年が政治の世界の常道である」と申されているが、私もこの論評は妥当だと思ふ一人である。

これまでの総括をし、留萌の未来を見据え、三期目の選挙に臨む環境を整え出馬の決断をすべきと思うがいかがか伺う。

【答弁】 多くの市民の笑顔が広がり、安心して留萌に住み続けていけるまちづくりに力を尽くしていく責任があるものと思っている。

【質問】 来年度以降の重要な政策課題について

「新交流複合施設整備」など現在進行中の事業や、市の財政運営の根幹に関わる「市立病院の経営」なども想定されるが、今後の持続可能なまちづくりを進めるうえで、来年度以降、最も重要な政策課題について伺う。

【答弁】 今後、持続可能なまちづくりを進めるうえで「新交流複合施設の整備」と「市立病院の経営」については、今後の財政運営の面からも、最も重要な政策課題であると認識している。



【質問】 商店街の活性化

時代のニーズに合った商店街支援の在り方について、旧るもいプラザへの取り組み状況について市長の考えを伺う。

【答弁】 商店街振興組合連合会の事業に対して補助金を出すなど従来の支援に加えて、地元企業応援条例を活用した空き店舗対策や街中居住など違う形が求められている。

旧るもいプラザによる中心市街地の景観・安全性について懸念しているが個人財産であり、跡地利用がま



▲来年2月に予定されている留萌市長選挙

あるものと思っている。

できるだけ早い時期に、後援会の皆様にも、私の市政に臨む考えを十分に相談のうえで、出馬の判断を明らかにしたいと考えている。



▲再開発が予定されている旧JR留萌駅

だ定まっていらないことなどで具体的に進んでいない。今後条件的に整えば適切な処理を進めていきたい。

【質問】 新交流複合施設と駅前再開発

新交流複合施設を含めた今後の財政支出と市の財政規律である実質公債費比率10%の壁についてと、駅前地区における民間活力導入への取り組みについて市長の考えを伺う。

【答弁】 10%の壁を越えることを3年、4年と続けることは絶対に避けなければならぬ。相対的な判断の中で壁を越えない財政運営をしていく。宿泊施設、温浴施設について民間企業と協議中であり、市民利用が可能な温浴施設を併設する滞在型商業施設の実現に向け更に協議を進める。詳細が決まり次第、事業計画を明らかにする。

令和7年度 留萌市議会議員出席状況（R7年4月1日～R7年9月30日）

※委員会は開催状況によって
出席回数が異なる
※（―）は出席対象外の会議

	議員名	① 宇川達朗	② 村上雅彦	③ 田村裕樹	④ 川村忠司	⑤ 燕昌克	⑥ 横田美樹	⑦ 鈴田亜湖	⑧ 小野敏雄	⑨ 小沼清美	⑩ 戸水美保子	⑪ 米倉靖夫	⑫ 村山ゆかり	⑬ 野崎良夫	⑭ 村上均
委員会名等	開催日数	出席日数													
定例会（開会日）	8	8	8	8	8	8	8	7	8	8	8	8	8	8	8
臨時会	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2
特別委員会（予算審査）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別委員会（決算審査）	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	―
議会運営委員会	12	12	―	12	―	12	―	―	―	―	―	11	12	―	12
総務経済常任委員会	8	8	7	―	―	―	―	8	8	―	8	―	8	7	―
民生文教常任委員会	6	―	―	6	6	6	6	―	―	6	―	6	―	―	6
議会広報広聴常任委員会	7	7	6	―	7	―	7	6	―	7	7	―	7	―	―
全員協議会	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4

議員政策形成セミナーに参加

宗谷管内市町村議会議員政策形成セミナーが、7月15日、稚内市で開催され8人が参加しました。

講師は、東京大学大学院法学政治学研究科教授の金井利之氏。金井氏は「地域活性化政策」「人口減少を前提にした対策」など現在の社会情勢の中でこれからの議会・議員のあり方について講演。特に「変わらなかったら生き残れない」どのように変わるべきかを考えなければならない。また「日本消滅」「地方消滅」にならないために「人に選ばれる国（地域）」になるための取り組み等が重要であることを学びました。



全国市議会議長会研究フォーラムに参加

第20回全国市議会議長会研究フォーラムが、8月27～28日、札幌市で開催され、留萌市議会から全議員が参加しました。全国から2,500人が参加。地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けたパネルディスカッション、課題討議では「市民との情報共有」「多様な人材が増える環境づくり」「データに基づいた政策提言」など、議会改革と議員力向上のポイントを学びました。留萌市議会は、定数14人中、5人が女性。出馬する立候補者が多く、なり手不足の問題は抱えてはおりませんが、議員力を向上し、魅力ある議会をつくらなければならないと強く思いました。



議会の動向

令和7年6月3日から令和7年9月2日までの議会の動向を報告します

- 7.6.3 令和7年留萌市議会第2回定例会開会日
6.9 自由民主党北海道第十選挙区支部留萌管内移動政調会
6.10 留萌市暴力追放運動推進協議会令和7年度定期総会
6.11 一般質問
 〃 議会運営委員会
6.12 一般質問
 〃 留萌市自衛隊協力会・雇用協留萌支部役員会/総会
6.13 本会議
6.15 第二師団創立七十五周年・旭川駐屯地開設七十三周年記念行事
6.17 議会広報聴常任委員会
6.19 民生文教常任委員会
6.20 総務経済常任委員会
 〃 海上自衛隊護衛艦「あさぎり」入港歓迎式/特別公開/歓迎懇親会
6.21 海上自衛隊護衛艦「あさぎり」乗組員との交流会
6.22 留萌駐屯地創立七十二周年記念行事
6.23 海上自衛隊護衛艦「あさぎり」見送り
 〃 留萌地域総合開発期成会令和7年度臨時総会・地元要望
6.24 留萌地域総合開発期成会札幌要望
6.25 留萌地域総合開発期成会中央要望
6.26 留萌地域総合開発期成会中央要望
6.30 第1回二水会
 7.2 公共施設整備調査研究会行政視察(土別市・岩見沢市)
 7.3 陸上自衛隊北部方面総監 井土川一友陸将を囲むタベ
 7.5 東海大学海洋調査研修船「望星丸」留萌寄港歓迎懇親会
7.10 北海道市議会議長会道北支部議長会事務局職員研修会
 〃 東海大学海洋調査研修船「望星丸」出港見送り
7.11 富士登山駅伝「るもい自衛隊」チーム選手出発見送り
7.14 議会広報聴常任委員会
7.15 宗谷管内市町村議会議員政策形成セミナー
7.16 議会運営委員会
7.18 留萌市小麦集出荷貯蔵施設落成式
7.22 委員長会議(拡大)
7.23 陸上自衛隊北部方面隊情報収集訓練視察
7.24 民生文教常任委員会
7.25 るもい呑涛まつり式典
7.29 東京都北区議会自由民主党北区新時代の会行政視察
7.31 各派代表者会議
 〃 総務経済常任委員会
 8.1 公共施設整備調査研究会
 8.3 富士登山駅伝大会現地応援
 8.4 札幌市議会議員来留
 8.5 留萌GX・みなとセミナー
 8.7 第25回「ユニオン・福対協」チャリティービアパーティー
 8.8 各派代表者会議
 〃 全員協議会
8.18 総務経済常任委員会
8.19 民生文教常任委員会
 〃 全員協議会
 〃 議会広報聴常任委員会
8.20 令和7年留萌市平和祈念式典
8.25 各派代表者会議
 〃 総務経済常任委員会
 〃 令和7年度第1回まちづくり懇談会
8.27 全国市議会議長会研究フォーラムin札幌
8.28 全国市議会議長会研究フォーラムin札幌
8.29 議会運営委員会
9.2 令和7年留萌市議会第3回定例会開会日

こんなことが決まりました

令和7年 第3回定例会 9月2日～11日

令和7年 第3回定例会

報 告	・令和6年度留萌市の健全化判断比率の報告について ・令和6年度留萌市の資金不足比率の報告について ・専決処分等の報告について(損害賠償について) ・専決処分等の報告について(令和7年度留萌市一般会計補正予算(第2号)について)ほか2件…了
認 定	・令和6年度留萌市各会計歳入歳出決算の認定について ・令和6年度留萌市下水道事業会計決算の認定について ・令和6年度留萌市水道事業会計決算の認定について ・令和6年度留萌市病院事業会計決算の認定について …認定
議 案	・専決処分等の報告について(令和7年度留萌市一般会計補正予算(第3号)について) …承認 ・令和7年度留萌市一般会計補正予算(第4号) ・令和7年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) ・留萌市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について ・留萌市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について ・留萌市重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について …原案可決 ・留萌市公平委員会委員の選任について ・留萌市教育委員会委員の任命について …同意
選 挙	・留萌市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について…指名推選
意見書案	・国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書 …原案可決

組合議会からの報告

留萌南部衛生組合議会

衛生センターなどの視察

留萌南部衛生組合議会は、5月13日に最終処分施設をはじめ、4か所の視察を行いました。引き続き9月25日に残りの衛生センター(留萌市)、やすらぎ聖苑(留萌市)の2か所の視察を行いました。衛生センターは、供用開始以降47年を経過し、施設そのものが老朽化している現状から、今後のし尿処理方法について、議員協議会で検討を開始したところです。



編集後記

●今回の一般質問の市長答弁で、「皆さんから言われている宿泊施設、温浴施設というものについて、企業と協議を重ね、実現の可能性について現在模索をしている。」と回答されました。この温浴施設は昨年議会で実施した、アンケート調査で67%の方があげていました。今後も皆さんの声を伝えていきます。(雅)